

経済倶楽部便り

◆東京◆ コロナ禍に加えロシアによるウクライナ侵攻で講演会のテーマもそれらに集中しがちです。4月も医療問題で日本病院会会長の相澤孝夫氏の講演に説得力がありました。コロナ禍による医療崩壊問題では3月の学習院大学教授の鈴木亘氏が明快でした。今回は病院ベッド数世界一という数字の中味から解説され、実はもっと少ないと指摘。加えて急性期治療後のケア対応や高齢化社会、地域過疎の問題も含め日本の医療が適応出来ていない状況について改革が急務だとされました。6月号に掲載予定です。

1月の新会員（追加）をご紹介します。S M

BCコンサルティング執行役員の遠藤宏之様、トーハン副社長の田仲幹弘様です。

6月の講師は笹川平和財団上席研究員の渡部恒雄氏、証券ジャーナリストの前田昌孝氏、慶應義塾大学総合政策学部教授の廣瀬陽子氏、ノンフィクション作家で評論家の塩田潮氏を予定しています。

◆中部◆ 4月はTBS「news 23」キャスターの星浩氏に来て頂きました。ウクライナ戦争についてはその終結が短期か中期化かわからないが、最終的には民主主義、市場経済、国際協調主義が勝利するだろうと話されました。

6月の講師は武者リサーチ代表の武者陵司氏、毎日新聞専門編集委員の与良正男氏を予定しています。
(日暮良一)